

おやこ大学だより

2018年度 7号 (2018. 10. 1) Vol.89

ご挨拶



10月に入り、街はハロウィンの雰囲気本格的にあふれ、秋のお祭り気分が盛りあがってきましたね。自宅ではハロウィンの飾りつけや、ご飯メニュー、おべんとうなど飾りつけで楽しんでいらっしゃるかもしれませんね。日本でハロウィンが始まったのは1970年代で最初はなかなか定着しなかったようです。広く知られるようになったのは、1997年にはディズニーランドが、2002年にはユニバーサルスタジオジャパンがハロウィンイベントとして取り上げたことや、各地域で開かれているイベントが次第に定着したところから、知名度が上がったようです。ここ数年はSNSの効果もあり、飾ったり食べたりする楽しみから、衣装などを着てみんなで共有する楽しみへ変化しているのを感じます。街角を歩くと可愛いハロウィン姿の子ども達もみられるのも、この季節ならではの楽しみですね。

秋の七草

春の七草はスーパーに並んでいてお粥で食べたりしますが、秋の七草は観賞用ですぐ思い浮かばないなと思っていたら、覚えやすい方法があることを知りました。ゴロ遊びで「お好きな服は」(おすきな ふくは)の「お」はオミナエシ(女郎花)、「す」はオバナ(すすき)、「き」はキキョウ(桔梗)、「な」はナデシコ(撫子)、「ふ」はフジバカマ(藤袴)、「く」はクズ(葛)、「は」はハギ(萩)で7種類です。

秋の七草は、奈良時代の万葉集にもあり、歌人・山上憶良が詠んでいたようです。

秋の野に 咲きたる花を 指折りかき数ふれば 七種の花 (万葉集・巻八 1537)

はぎ おばな くずばな 秋の花 尾花 葛花 なでしこの花 をみなえし また藤袴 朝貌の花 (万葉集・巻八 1538)

古の人々と同じに、秋の風情を楽しむ姿は、今も昔も変わらないですね。

秋の交通安全 日没前後 1時間にご注意

秋は交通安全運動のシーズンです。先日、ニュースで過去五年間の死亡事故を調べたところ10月から12月に起きた死亡事故の約7割が日没前後1時間に起きていたことが分かったそうです。予防として警視庁によると、歩行者は反射材の着用、車を運転する時はヘッドライトを早めに点灯することを呼び掛けています。夕方は、お子さんのお迎えや、買い物、習い事など、自転車や車で移動する事がありますよね。また、職場から早く自宅へ帰り、夕飯のしたくをしようと思いつき落ち着かない時間帯になりがちです。デンジャラスタイムを知り、大人も子どもの交通安全に努めましょう。



草加市子育てフェスタがありました



9月15日(土) 10:00~15:00まで子育てフェスタがありました。今年で18回目の開催となり、作って！遊んで！つながって！をコンセプトに、たくさんの参加者がありました。当センターとおやこ広場を開催しているハートライアングル共催による工作コーナーも人気で、お寿司とケーキの手作りキットで楽しみました。その他、ゲームの部屋、工作の部屋、リトルステージでのベビーサイン、読み聞かせ、ベビーマッサージ、音楽会、Mama's 工房など、たくさん。小さい赤ちゃんから小学校低学年までのお子さんを楽しめるイベントとなりました。



次回号をお楽しみに

今月から「おやこ大学」がスタートします。毎年、離乳食やタッチケア、絵本の楽しみ、スクラップブックなど、みんなで楽しんでいます。赤ちゃんと一緒に楽しめるイベントの様子を、次回はお知らせしたいと思います。お楽しみに。

♪ 獨協大学地域と子どもリーガルサービスセンターからのお知らせ ♪

専門相談のお知らせ

- 2018年10月 5日(金) 10時~13時 林 恵津子先生 (埼玉県立大学教授、臨床発達心理士)
- 2018年10月 10日(水) 14時半~16時半 作田 亮一先生 (獨協医科大学埼玉医療センター子どものこころ診療センター)
- 2018年10月 16日(火) 10時~13時 三浦 文子先生 (文教大学、臨床心理士)
- 2018年10月 25日(木) 13時~15時 久能 由莉子弁護士 (獨協地域と子ども法律事務所)

※すでに定員一杯でキャンセル待ちとなる場合があります。お問い合わせください。

お問い合わせ・投稿はこちらまで

獨協大学地域と子どもリーガルサービスセンター

〒340-0041 埼玉県草加市松原1-1-10
 TEL.048-946-1781 FAX.048-946-1782
 E-Mail: kodomolc@dokkyo.ac.jp

子どもに関する相談(無料) 月~金 9時~17時) 048-946-1771
 ※祝祭日はお休み